

～「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定地区が決定！～

内閣官房及び農林水産省が実施した「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に全国から496件の応募があり、東北局管内からは**5件**が選定され、そのうち、ひろさき援農プロジェクトは、コミュニティ・地産地消部門で優秀賞を受賞しました。

また、東北農政局では、東北6県から応募のあった107件のうち、全国選定された5件を除いた中から、**東北農政局選定6件**を選定しました。

【第11回全国選定地区（東北管内）】

■ビジネス・イノベーション部門

- ・ P i l z 株式会社（秋田県横手市）
- ・ 有限会社玉谷製麺所（山形県西川町） **特別賞**
- ・ 合同会社ねっか（福島県只見町） **特別賞**

■コミュニティ・地産地消部門

- ・ ひろさき援農プロジェクト（青森県弘前市） **優秀賞**
- ・ 秋田県南旭川水系土地改良区（秋田県横手市）

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは？

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る取組です。



令和6年12月17日 全国選定授与式の様子

【令和6年度 東北農政局選定地区】

■ビジネス・イノベーション部門

- ・ 株式会社テクノボズ（岩手県一関市）
- ・ 宮城県農業高等学校 農業経営者クラブ（宮城県名取市）

■コミュニティ・地産地消部門

- ・ 大川原地区棚田地域振興協議会（青森県黒石市）
- ・ 奥松島果実生産組合いちじくの里（宮城県東松島市）
- ・ 株式会社百（宮城県川崎町）

■個人部門

- ・ 渡部 雅俊（福島県南会津町）

令和6年度東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定証授与式を開催します。

令和7年1月28日(火)に仙台市内で選定証授与式を開催し、選定証授与のほか意見交換会を行う予定です。

今年度選定された6件は、今後、事例集への掲載やホームページで情報発信していきます。



令和5年度ディスカバー農山漁村の宝 選定証授与式の様子

◇ 東北における「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」に関する情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kouryu/discover.html>

上記紙面の問合せ先：東北農政局 農村振興部 都市農村交流課 022-263-1111(内4052)





**5年に1度の
大切な調査へのお願いです。**

**2025年
農林業センサス**

令和7年2月1日現在

農林水産省

全国の農業・林業を営むすべての方が対象です。
次世代の農林業の発展のために、調査へのご協力をお願いします。

スマートフォンやタブレット
からも回答できます。

農林業センサス
これまでの結果など
詳しくはWebサイト

問合せ先：東北農政局 統計部 経営・構造統計課 022-745-9380

**高病原性鳥インフルエンザに注意！
渡り鳥シーズンへの備え**

◎ **防鳥ネットや壁に穴はあいていませんか？**
農場内の整理・整頓を行い、一見隙間がなさそうな家きん舎の
侵入口や、普段目が届きにくい場所などを再点検しましょう。

◎ **家きん舎の周辺・出入口の消毒を確実に実施していますか？**
消毒等が適切にできているか、動線が交差していないか確認し、
全ての従業員・外来事業者で衛生対策を徹底しましょう。

家きん舎の周囲には、**ウイルスの侵入経路が多く存在して**
います。人・車両、野生動物を介したウイルスの侵入防止の
ため、今一度、**点検・確認**をお願いします。

鳥インフルエンザに
関する情報はコチラ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>



「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止！

豚熱は、東北では令和2年に山形県の農場で発生以降、宮城県と
岩手県で発生しています。なお、野生イノシシの豚熱感染は、東北
全県で確認されています。

近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱の発生が継続しており、侵入
リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱に関する情報
はコチラ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>

アフリカ豚熱に関
する情報はコチラ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>

野生イノシシの豚熱検査情報に関する情報はコチラ
https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html






地域からの便り

各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子などを東北農政局HPで紹介しています。

もちもちの忠さんちの米粉パン －秋田県・湯沢市－（2024年12月5日掲載）



相川地域の「農業生産法人株式会社相川ファーム」では、農林水産省の「六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画」を活用し、加工部門として「忠さんちの米粉パン工房」を整備して、自社栽培の米を原料とした米粉を使い、パンの製造・販売を行っています。代表取締役の菅 忠一郎氏は、地域の方々や関係者から「忠（ちゅう）さん」の愛称で親しまれていることから工房名に取り入れました。

原料の米粉は、忠さんが環境に配慮し栽培したあきたこまちを使用しており、工房では役員で奥さんの幸子さんが腕を振るってパンを焼いています。道の駅や市役所売店で販売する「食パン」は人気で、その日の気温、湿度にあわせパン生地水分やこねる時間を調整し、丁寧に焼き上げています。



写真：左から忠さんとパン工房を担当する奥さんの幸子さん



写真：焼きたての食パン

歴史ある「小野川豆もやし」の栽培に 取り組んでいます



－山形県・米沢市－（2024年12月20日掲載）

この地区での豆もやし栽培は約300年前から始まり、明治時代に見舞われた小野川温泉街での大火を期に、復興財源確保のために本格的に始まったと言われています。そして大正12年には、現在の「小野川豆もやし業組合」の前身である「三沢村大字豆もやし業組合」が結成され、小野川地区全戸（72戸）での共同作業による栽培が行われていました。また、山形大学の調査によると、小野川豆もやしの元となる大豆は、新潟県の在来種に近いことから、上杉家のつながりで新潟県から小野川地区に持ち込まれたという説もあり、歴史とロマンが感じられます。



写真：室堀小屋での収穫作業の様子（毎朝5時から収穫を行います！）



写真：出荷準備の様子（販売する重量（150・200・300）グラムごとに小分け・包装し出荷します！）

◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局HPをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先

東北農政局企画調整室支援チーム022-263-1111（内線4402、4076）

東北農政局HP
食・農ひとくち情報



@MAFF_TOHOKU
東北農政局 公式 X
アカウントはこちら



@maff_Tohoku
東北農政局 公式 Instagram
アカウントはこちら

